

## 第3部 ごみゼロ 市民会議 特集

# 環境先進都市を目指して ごみゼロ市民会議委員を募集します

市民の皆さんのアイデアをお寄せ下さい

ごみ減量課 ☎042・797・0530 FAX042・797・5374  
町田市コールセンター ☎042・724・5656 FAX042・724・5600

ごみゼロ市民会議では、2007年8月末を目途に、地域で実践できるごみ減量・資源化の方策を検討していただきます。  
主な検討事項は、発生抑制 分別の徹底 プラスチックの分別収集・資源化 生ごみの資源化の4項目を考えています。  
ごみゼロ市民会議では、市民の方のごみの減量や資源化の方策の提案とともに、委員の方全員での話し合い、専門家による講演会やパネルディスカッションを通して、地域で実践していただけるようなごみの減量・資源化の具体的な方策の検討をしていただきます。

### ごみの減量・資源化の具体的な方策を検討

今回募集するごみゼロ市民会議の1回目の会議は9月に町田リサイクル文化センターで開催する予定です。その後の会議の開催については、委員相互の話し合いで決めていきますが、月1回程度で、参加しやすい土曜・日曜日などの開催を想定しています。  
市民会議は、一般公募委員約50人のほか、地域選出からの委員10人などにより、概ね60人で構成。会議のアドバイザーとして学識経験者や、会議の進行管理役としてコンサルタント会社の参加を予定しています。

### ごみゼロ市民会議は9月に開催予定です

私たちのまわりにはモノがあふれ、使い捨てを繰り返しています。しかし、それがさまざまな環境問題を引き起こしています。  
「ごみが増え続けることは、埋め立て地が満杯になって困る」というだけでなく、地球の温暖化や、人々や生き物に悪い影響を及ぼしています。  
「ごみになるものは家に持ち込まない、家からごみを出さない、繰り返し使えるものは何度も使う、繰り返し使えないものは、資源として活用するなど、ごみ減らしの工夫が必要です。」  
ごみについて考えることは、地球環境を守る第1歩です。

### ごみについて考えよう!

町田市長 石坂丈一

町田市では、ごみの減量と資源化の推進に向けて、ごみになるものを作らない・燃やさない・埋め立てないことを基本に、「ごみゼロ市民会議」を設け、これに参加していただける市民の皆さんを募集します。  
この会議は、ごみの減量と資源化の推進を持続的に維持していくために、より多くの市民の皆さん方の話し合いを通して、町田市における減量・資源化の具体的な方策を提案していただき、まとめられた方策を市に報告していただくものです。  
その後、地域での方策の実証につなげていただければと考えています。より多くの皆さんのご応募をお願いいたします。

ごみゼロ市民会議  
専用はがきでご応募下さい  
あなたの「提案」を書いて7/31までに

専用はがき

郵便はがき

194-8701

町田市中町一丁目20番23号  
町田市役所清掃事業部  
ごみ減量課 行

氏名		
住所	(〒 - )	
電話	(受付印)	
性別	男 ・ 女	
年齢	歳	

## ごみゼロ市民会議委員の公募について

ごみ減量・資源化の具体的な方策を検討していただきます  
応募専用はがきでご応募下さい

### 募集内容

対象 市内在住で18歳以上(2006年4月1日現在)の方で、ごみゼロに向けたごみの減量・資源化に関心があり、検討された方策を自ら地域で積極的に実践していただける方  
募集人員 50人程度(応募多数の場合は抽選となる場合があります)  
活動内容 ごみゼロに向けたごみの減量・資源化の方策を委員相互で話し合いながら検討し策定します。会議は月1回程度、土・日曜日などの開催を予定しています。  
委嘱期間 2006年9月から2007年8月までの予定  
謝礼 1回につき2000円程度

### 応募方法

左の「応募専用はがき」(切手不要)を切り取り、必要事項と「発生抑制 分別の徹底 プラスチックの分別収集・資源化 生ごみの資源化」の中からテーマを選択し(複数可)、ごみの減量・資源化につながる具体的な実践方法のご提案を200字~400字以内で記入し、7月31日(消印有効)までにごみ減量課へ。  
なお、結果は8月末までに、応募者全員にお知らせします。

### 選考基準

個人・団体に対する誹謗・中傷が記述されたもの及びごみ減量・資源化に関する記述のないものはご遠慮願います。

### 特記事項

- この会議は、公開で行われます。
- お送りいただいた応募はがきは、個人を特定できる部分を除き、公開される場合がありますので、あらかじめご承知おき下さい。